

# 日本貝類学会 2019 年度大会（東京）

会期：2019 年（令和元年）5 月 18 日（土）・19 日（日）

会場：東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス 1 号館

## 大会スケジュールおよびプログラム

### 5 月 18 日（土）

〇8:30 受付開始（1F ロビー内）

会場 口頭発表（9:30～14:00, 17:00～18:00） 場所：1407 教室（4F）

ポスター発表（コアタイム 14:00～17:00） 場所：ローズホール（4F）

懇親会（18:00～20:00） 場所：ローズホール（4F）

### 大会スケジュールおよび口頭発表プログラム

座長：大越健嗣（東邦大・理）

9:30～9:45 O-1 江戸川河口干潟におけるホンビノスガイ (*Mercenaria mercenaria*) の成長の季節変化  
橋詰和慶（戸板女子短大）

9:45～10:00 O-2 沖縄市泡瀬干潟の埋立工事に伴う貝類群集の変化  
ー特にグリーンタイドの発生による貝類の大量死についてー  
山下博由<sup>○</sup>（貝類多様性研究所）・前川盛治（泡瀬干潟を守る連絡会）

10:00～10:15 O-3 オナガリュウグウハゴロモは絶滅したのか？  
木村昭一（三重大院・生物資源）

10:15～10:30 O-4 マキガイイソギンチャクはなぜアラムシロと共生するのか？  
後藤 理・木村妙子<sup>○</sup>（三重大・生物資源）

10:30～10:45 休 憩

座長：佐々木猛智（東大・総合研究博物館）

10:45～11:00 O-5 4 秒では終わらないミノウミウシ類の配偶行動  
中嶋康裕<sup>○</sup>（日大・経済）・横井恵太（日大・生物資源科学）

11:00～11:15 O-6 ヒメエゾボラの摂餌生態：殻高変異に着目して  
山上竜生<sup>○</sup>・和田 哲（北大院・水産）

11:15～11:30 O-7 ペルム紀の巨大二枚貝シカマイア属の古生態  
安里開士<sup>○</sup>（筑波大院・生命環境科学）・加瀬友喜（神奈川大・理）

11:30～11:45 O-8 275 万年前の寒冷化が日本海沿岸域の軟体動物群に与えた影響  
天野和孝（上越教育大）

11:45～12:00 O-9 深海ベントスの進化を探る ーチヂワバイ属巻貝の自然史研究ー  
石山玄樹<sup>○</sup>（東大・大気海洋研）・高野剛史（東大・大気海洋研, 目黒寄生虫館）・  
福森啓晶（東大・大気海洋研, 琉大・熱帯生物圏研究センター）・  
伊藤 萌（東大・大気海洋研, 国立環境研）・長谷川和範（国立科学博物館）・  
小島茂明・狩野泰則（東大・大気海洋研）

12:00～13:00 昼 食

座長：芳賀拓真（国立科学博物館）

13:00～13:15 O-10 古典貝書から読み解くコガモガイ類の分類学的変遷  
中山 凌（京大院・理）

13:15～13:30 O-11 ナガガキの再発見と micro-CT による貝殻構造解析  
大越健嗣<sup>○</sup>（東邦大 理）・千葉 晋（東農大・生物産業）・  
浜口昌巳（瀬戸内海区水産研究所）

13:30～13:45 O-12 イモガイ科貝殻模様の 3 次元構造と数理モデルによる再現  
佐藤英明<sup>○</sup>（東大院・地球惑星）・佐々木猛智（東大・総合研究博物館）

13:45～14:00 O-13 分光学的手法を用いたアマオブネガイ科貝類の貝殻色素の同定  
古村俊行<sup>○</sup>・鍵 裕之（東大院・理）・石川牧子（ヤマザキ動物看護大）・  
安井万奈（早大・理工学術院総合研究所）・佐々木猛智（東大・総合研究博物館）

14:00～17:00 ポスター発表（ローズホール：4F）

座長：長谷川和範（国立科学博物館）

17:00～17:15 O-14 コハクオナジマイマイに対するダニの寄生地理  
入村信博<sup>○</sup>（千葉県立若松高）・脇 司（東邦大・理）・  
浅見崇比呂（信州大・学術研究院・理）

17:15～17:30 O-15 関東のキセルガイ類に寄生するワスレナカタツムリダニ  
脇 司<sup>○</sup>（東邦大・理）・池澤広美（茨城県自然博物館）・梅田剛佑（帯広畜産大）・  
島野智之（法政大）

17:30～17:45 O-16 ベッコウマイマイ類の分子系統地理  
市川順也<sup>○</sup>・上島 励（東大院）

17:45～18:00 O-17 コンボウギセルおよび類似種の分子系統地理学的研究  
元陳力昇<sup>○</sup>（自然環境研究センター）・市川順也（東大院）・上島 励（東大院）

18:00～20:00 懇 親 会（ローズホール）

### 5 月 19 日（日）

〇8:30 受付開始（1F ロビー内）

会場 口頭発表 2 日目（9:30～11:00, 14:30～16:15） 場所：1407 教室（4F）

特別講演（13:30～14:30） 場所：1407 教室（4F）

総会（11:00～12:30） 場所：1407 教室（4F）

座長：中野智之（京大・瀬戸臨海）

9:30～9:45 O-18 タカラガイの背線 (dorsal line) について  
知野光雄（神奈川県）

10:00～10:15 O-19 ハダカカメガイ属の総論  
山崎友資<sup>○</sup>（蘭越町貝の館）・桑原尚司（北海道立流氷科学センター）・  
嶋田 宏（北海道・中央水産試験場）・関 勝則（知床ダイビング企画）・  
佐藤長明（グラントスカルピン）・木村知晴（魚津水族館）・堀川恵司・張 勁（富  
山大）・高橋邦夫（国立極地研究所）

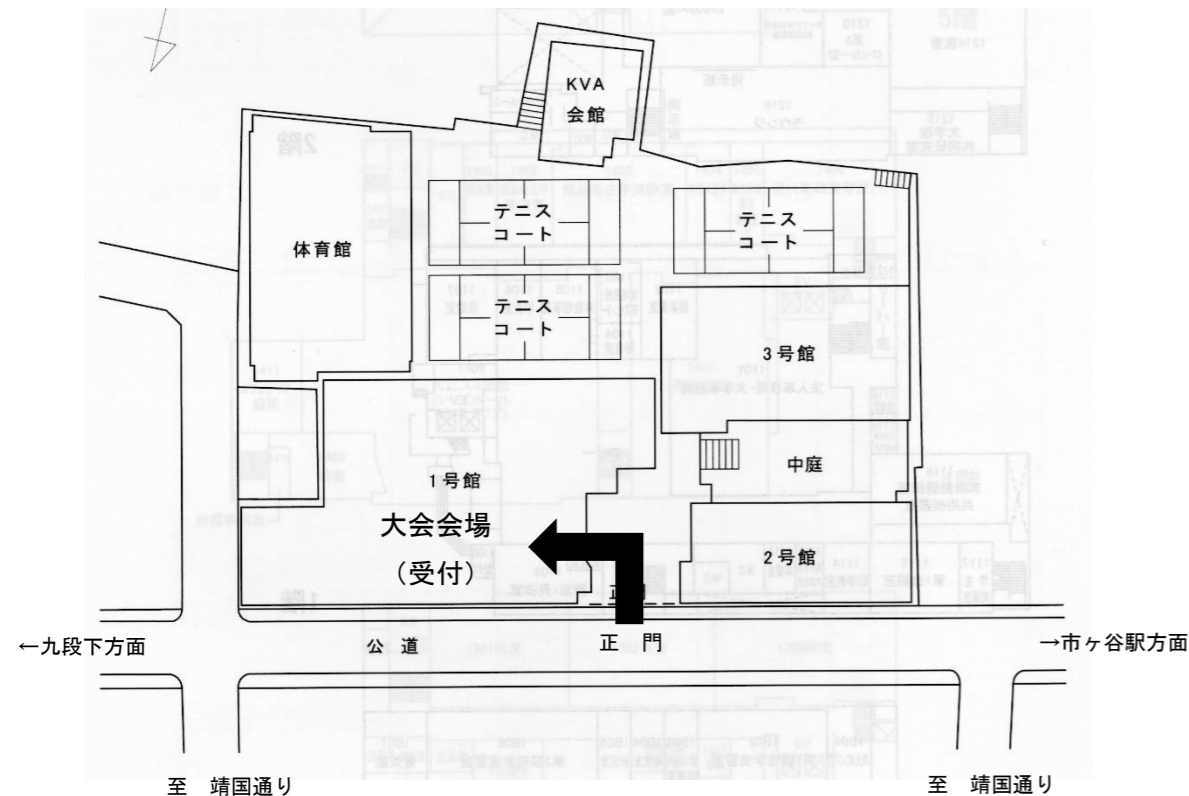
- 10:15~10:30 O-20 南西大西洋ブラジル沖サンパウロ海嶺の深海鯨骨生物群集から発見された *Rubyspira* 属の新種 (腹足綱: ワタゾコニナ上科)  
長谷川和範<sup>○</sup> (国立科学博物館)・藤原義弘 (海洋研究開発機構)・奥谷喬司 (神奈川県)
- 10:30~10:45 O-21 千島・カムチャッカ海溝の貝類多様性 -KuramBio II 航海で採集された腹足類から-  
福森啓晶<sup>○</sup> (東大・大気海洋研, 琉球大)・長谷川和範 (国立科学博物館)・狩野泰則 (東大・大気海洋研)
- 10:45~11:00 O-22 日本産ホタルガイ属の分子系統と形態的特徴  
照屋清之介<sup>○</sup> (沖縄県海洋深層水研究所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- 11:00~12:30 総 会
- 12:30~13:30 昼 食
- 13:30~14:30 特別講演 司会: 齋藤 寛 (国立科学博物館)  
大正・昭和・平成の貝人 --憶い出の人々--  
奥谷喬司 (日本貝類学会名誉会長)  
  
座長: 上島 励 (東大院・理)
- 14:30~14:45 O-23 ゲノム科学的解析から見るカイダコ類の貝殻形成機構の進化  
Davin H. E. Setiamarga<sup>○</sup> (和歌山高専, 東大・総合研究博物館)・吉田真明 (島根大隠岐臨海)
- 14:45~15:00 O-24 盗葉緑体ウミウシの比較ゲノミクス解析  
-新規に解読された *Elysia chlorotica* を中心に-  
前田太郎 (基礎生物学研究所)
- 15:00~15:15 O-25 有肺類リムネアの個体発生で起こる系統発生の反復と叛覆  
-進化発生遺伝学のススメ-  
尾城 隆<sup>○</sup>・黒川 信 (首都大院・理・生命科学)
- 15:15~15:30 O-26 軟体動物腹足類の消化管 -3D データに基づく比較解剖と定量化-  
厚芝真希 (東大院・地球惑星)・Chong Chen (海洋研究開発機構)・上杉健太郎・星野真人 (高輝度光科学研究センター)・砂村倫成 (東大院・地球惑星)・佐々木猛智<sup>○</sup> (東大・総合研究博物館)
- 15:30~16:00 O-27 分子生物学的手法によるハナゴウナ科腹足類の宿主同定  
高野剛史<sup>○</sup> (目黒寄生虫館)・伊藤 萌 (東大・大気海洋研, 国立環境研)・高見省吾 (東大・大気海洋研)
- 16:00~16:15 O-28 A mitochondrial genome phylogeny of Mytilidae (Bivalvia: Mytilida) .  
Yucheol Lee<sup>○</sup> (Department of Biological Sciences, Sungkyunkwan Univ.),  
Taeho Kimb, Joong-Ki Parkb (Division of EcoScience, Ewha Womans Univ.),

ポスター発表 コアタイム 18日 14:00~17:00 場所: ローズホール (4F)

- P-1 沖縄周辺海域における深海性貝類の生息状況  
東地拓生<sup>○</sup>・比嘉 俊輝・山城 篤 (沖縄美ら海水族館)・伊芸 元 (沖縄美ら島財団総合研究センター)
- P-2 岡山県勝田層群と広島県備北層群産中新世オザワサザエ *Turbo ozawai* Otuka  
富田 進<sup>○</sup> (多治見市)・田邊満雄 (新見市)・山岡隆信 (庄原市)・田邊賢吾 (津山市)・大澤 仁 (庄原市)・市橋好紀 (鳥取県東伯郡)・古川義雄 (庄原市)
- P-3 オオヘビガイは単一種か?  
中野智之<sup>○</sup> (京大・瀬戸臨海)・中山 凌 (京大院・理)
- P-4 汽水性囊舌目ウミウシ *Elysia leucolegnote* の幼生飼育  
三藤清香<sup>○</sup>・遊佐陽一 (奈良女子大院)
- P-5 九州西岸に固有なホリカワタマキビの分布様態とその形態の多様性  
山崎大志<sup>○</sup> (東北大・東北アジア研究センター)・瀬尾友樹 (近畿大・農)・平野尚浩 (University of Idaho)・齊藤 匠 (東邦大・理)・福田 宏 (岡山大・農)・千葉 聡 (東北大・東北アジア研究センター)
- P-6 飼育下で判明したトンガリササノハガイ幼生の宿主魚類  
伊藤寿茂<sup>○</sup> (新江ノ島水族館)・染谷 聖・柿野 亘 (北里大学)
- P-7 沖縄島の砂浜に生息する二枚貝の生息状況  
祝嶺 冴子・山川 (矢敷) 彩子<sup>○</sup> (沖縄国際大・地域環境政策)
- P-8 南西日本から採集された尾腔類  
齋藤 寛 (国立科学博物館)
- P-9 SNS を活用して共生関係の謎を解く: スガイ & カイゴロモ全国調査  
香川 理<sup>○</sup>・内田翔太 (東北大)・大澤祐美子 (九州大)・山崎大志 (東北大)・千葉 聡 (東北大)
- P-10 エゾボラにおける交尾・産卵行動  
和田 哲<sup>○</sup> (北大院・水産)・芳賀恒介 (えりも町)
- P-11 日本産ムシオイガイ亜科貝類の分子系統解析による分類学的検討  
松田春菜 (四国大) <sup>○</sup>・矢野重文 (四国貝類談話会)・山城 考 (徳島大院・社会産業理工)
- P-12 鳥取県東部岩美町沿岸域におけるウミウシ相調査  
太田悠造 (鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館)・田村沙織・山崎英治 (ブルーライン田後, NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会)・戸川優弥子 (NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会, 筑波大院・生命環境科学)・中野理枝<sup>○</sup> (NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会, 黒潮生物研究所)
- P-13 深海ベントスの種分化: ウバシタダミ属の例から  
中田明希<sup>○</sup>・狩野泰則 (東大・大気海洋研)
- P-14 愛知県の中部更新統渥美層群から発見された日本初記録属 *Strebloceras* Carpenter, 1859 (腹足綱: ミジンギリギリツツガイ科)  
芳賀拓真 (国立科学博物館・地学)
- P-15 アサガオガイとコシダカアサガオガイの形態と遺伝的比較  
寺本沙也加 (沖縄県海洋深層水研究所)
- P-16 大阪湾の干潟環境における希少ウミウシ類とその保全について  
柏尾 翔<sup>○</sup> (きしわだ自然資料館)・田中広樹 (株式会社海遊館)・和田太一 (南港ウェットランドグループ)・石田 惣 (大阪市立自然史博物館)
- P-17 楢円フーリエ解析による二枚貝の殻形態の比較 -フネガイ科を例として-  
山口智弘<sup>○</sup> (東大院・地球惑星科学)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)

- P-18 武蔵高等学校中学校収蔵の貝類標本の整理 –山川 (1930) に使用された標本の発見–  
石井康人<sup>○</sup> (武蔵高等学校 総合講座『標本庫』)・白井亮久 (武蔵高等学校中学校)
- P-19 関東地方における外来種マダラコウラナメクジの生息状況と交尾の記録  
池澤広美<sup>○</sup> (茨城県自然博物館)・須賀英明 (小美玉市)・川名美佐男 (さいたま市)・堤 徳郎 (笠間市)・宇高寛子 (京都大)
- P-20 One or two genera? Re-examination on the Genera of *Neverita* and *Glossaulax* (Family: Naticidae).  
Dun-Ru Kang<sup>○</sup> and Li-Lian Liu (Department of Oceanography, National Sun Yat-sen Univ.)
- P-21 サザエの稚貝は珪藻を食べているのか?  
井上香鈴<sup>○</sup> (お茶の水女子大・生物, 東大・大気海洋研)・鈴木秀和 (東京海洋大・藻類)・佐藤敦子 (お茶の水女子大・生物)
- P-22 太平洋島嶼潮間帯に生息する巻貝の殻色多様性に関する研究  
河合 溪<sup>○</sup> (鹿児島大・国際島嶼教育研究センター)・藤木利之 (岡山理科大・理)
- P-23 東北沖から発見されたシャクシガイ属 (シャクシガイ科) の1新種  
山崎友資 (蘭越町貝の館)
- P-24 ベーリング海南東部で採集されたハダカカメガイ類  
小磯桃子 (東邦大院・理)・河戸 勝・藤原義弘 (海洋研究開発機構)・山崎友資 (蘭越町貝の館)・大越健嗣<sup>○</sup> (東邦大・理)
- P-25 日本産カサガイ類における動物体表性とその生活様式について  
中山 凌<sup>○</sup> (京大院・理)・中野智之 (京大・瀬戸臨海)
- P-26 やってみよう! 深層学習によるウミウシの画像分類  
前田太郎 (基礎生物学研究所)

東京家政学院大学千代田三番町キャンパス内 建物配置図



※中学校・高等学校もありますので、学内は禁煙です。

会場の情報とアクセス

東京家政学院大学千代田三番町キャンパス (ホームページ <https://www.kasei-gakuin.ac.jp>)  
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22  
(JR 線・東京メトロ・都営地下鉄市ヶ谷駅から徒歩約 8 分,  
東京メトロ半蔵門線半蔵門駅から徒歩約 8 分)



※左下の図と南北が反対になっています (こちらの図は上方向が北です)。